

## 南部町地域福祉研修会



### TOPIC

- ☆南部町社協会長表彰
- ☆子供服リユース
- ☆地域福祉研修会
- ☆非常用自家発電機

### 特集

- 夏休みボランティア体験
- eスポーツ

南部町社会福祉協議会



☞ 子ども服譲渡会の予定は  
こちらでチェック

本 所：法勝寺331-1  
総合福祉センターしあわせ内 0859-66-2900  
会見支所：浅井938  
総合福祉センターいこい荘内 0859-64-3515

令和6年度新年のあいさつ

新年明けましておめでとございます。  
平素は社会福祉事業推進に特段のご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、社会経済活動が徐々にではありますが回復基調となりました。一方で生活課題はより複雑化・深刻化していく傾向となっています。

令和3年度「南部町地域福祉推進計画」の5か年計画が、基本理念である「みんながいきいきと活躍し、心をつないで支え合う共生のまちづくり」を実現するために始まりました。この計画を実現するために、基本計画の重点取り組み施策である①地域振興協議会における福祉機能の強化、②福祉学習の推進と担い手づくり、③共生型総合相談体制の構築、④健康づくりの推進を着実に実施していく方針です。

地域課題解決のために行政は勿論、地域振興協議会、民生児童委員、社会福祉団体等の皆様方と連携・協力を更に進めながら事業運営に努めてまいりますので、本年も宜しくお願い申し上げます。

南部町社会福祉協議会

会長 入口 幹

## 令和5年度 南部町社会福祉協議会会長表彰



社会福祉施設・団体役員功労者

氏名	所属
石田 禎三	南部町身体障害者福祉協会
田浪 照雄	南部町老人クラブ連合会

ボランティア福祉活動功労者

氏名	所属
河野 早苗	南部町赤十字奉仕団
原 環	地域福祉委員（落合下）
細田 幸子	地域福祉委員（東西町3区）
上原 洋一	地域福祉委員（朝 金）
長尾 智恵	地域福祉委員（大河内）

社会福祉施設・団体職員功労者（敬省略）

氏名	所属
荒木 佐代子	伯耆の国
松原 美千代	伯耆の国
遠藤 和子	伯耆の国
安達 明美	伯耆の国
奥田 加代子	伯耆の国
加賀 奈美子	伯耆の国
加納 智	伯耆の国
松本 寿志恵	伯耆の国
藤田 恭子	伯耆の国
雲木 真吾	伯耆の国
生田 理恵	伯耆の国

受賞おめでとうございます

令和5年度の南部町社会福祉協議会会長表彰は18名の方が受賞されました。

12月7日に社協理事立会いのもと、表彰状の授与と記念品の贈呈を行いました。

永年にわたる社会福祉・ボランティア活動等、地域の福祉活動にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。





11月2日(木)富有まんてんホールにて南部町地域福祉研修会を開催しました。陶山町長をはじめ、町議員、行政職員、民生児童委員、地域振興協議会、地域福祉委員、社協理事・評議員の方々など合計65名にご参加いただきました。

当日は、南部町地域福祉推進計画の策定に深く関わっていただいた鳥取大学地域学部竹川教授に「2040年に向けた健康で持続可能な共生の地域づくりを考える」という演題でご講演をしていただき、その後竹川教授と参加者の方々で意見交換会を行いました。

# 南部町地域福祉研修会

「2040年に向けた健康で持続可能な共生の地域づくりを考える」  
～小地域福祉活動を軸に据えた地域福祉推進計画の実現に向けて～

日時：11月2日(木) 場所：富有まんてんホール  
講師：鳥取大学 教授 竹川 俊夫氏

竹川教授より、今後、全国的に少子高齢化が進み、高齢者が増加し、生産人口が急減していくことで医療・介護の人手が足りなくなってしまうのが2040年と言われているが、鳥取県はもっと早く2025年がピークとなっている。

その対応として健康寿命を延ばしていくことが重要となっており、政策課題の一つとして地域共生・地域の支え合いが挙げられている。

しかし、行政だけが、がんばっても解決はできない。

人口減少が進む中、コミュニティ機能を維持しつつ2040年問題にも対応するには、住民が主体的に参加し、小規模ながらオールラウンドな地域づくりができ、行政とも連携できる住民組織が不可欠。

南部町では地域振興協議会が該当となる。

南部町の地域づくりを2040年に向けた持続可能な共生の地域づくりに発展させていくには、南部町地域福祉推進計画を遂行することが必須だといえる。

最後に南部町の持続的な発展に向けて本計画を通じ、住民の皆さんが主体となった活力ある「住民自治」が育まれることを強く期待していると結ばれました。



手間地区の視察も行いました



## 中学生 ボランティア体験

中学校1年生～3年生を対象に実施しました。町内の社会福祉施設に受け入れをお願いし、夏休みの期間中にそれぞれの体験先で3日間の体験をしました。体験先では、利用者や職員の方々と同じ時間を過ごし、最初は緊張も見られましたが、体験していくごとに会話も増え日常ではできない体験になったと感じました。地域に出て実際に見たり聞いたりすることで現場の声や状況を知り、学びのある3日間になったと思います。



### 参加の動機は？

- 地域にどのような福祉があるか気になったから。ボランティアを通して福祉を知るため。
- ボランティアを体験する機会はありませんし、高齢者の方や小さい子たちと関わることがしてみたいから。
- 歳のはなれた人ともかかわってみたいと思ったから。目標はみんなと仲良くなりたい。
- ボランティア活動を自分も一緒に混ざりながら体験をして、将来に活かしたいと思った。

### 体験してみて感じたこと

- 3日間という短い期間だったけど子どもたちに「また来てね！」など言われ嬉しい気持ちになりました。また来年ボランティアをしたいと思います。
- 今回体験して、職員さんや小学生との関わりを学びました。そして、一番学んだことは、あいさつです。小学生に初めて会う時に自己紹介をすることで相手にも自分をわかってもらえコミュニケーションがとれるということがわかりました。
- 3日間の活動を通してご利用者様と会話することはなかなかできませんでしたが、この体験はとてもやりがいがあって楽しかったです。様々な人達と出会い関わり、貴重な体験ができたことを非常に嬉しく思います。
- 今回のボランティア体験を通して、人を大切にする事の重要さがわかりました。これからの生活では、相手の気持ちを考えて生活することを意識したいです。





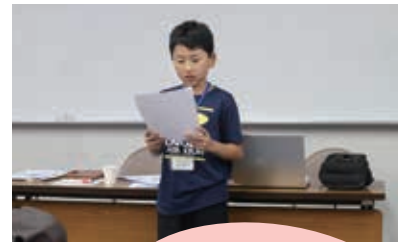
# 夏休みボランティア体験



赤い羽根共同募金助成事業

## 小学生 ボランティア体験

小学校5年生・6年生を対象にして、総合福祉センターいこい荘を中心に2日間実施しました。社協コースで学び、車いす体験・高齢者疑似体験、赤い羽根共同募金、リサイクル活動、配食サービス配達を体験しました。共同募金では担当者からの話を聞き、オリジナルの募金箱の作成をしました。配食サービスでは、地域のボランティアさんと一緒に利用者宅を訪問し、見守り活動を体験しました。



### ■どんな時に不自由でしたか？

- 車いすでだんさを上るときに不自由。
- お茶をつぐときにこぼしそうだった。
- 立つとき、歩くとき、手をあげる時、ひざが曲げにくい。
- はしを使って小さい物がつかめなかった。

車いす・高齢者体験  
をしてみよう



### 体験してみて 感じたこと

### 自分にできることは？

- 目が見えにくい人や見えない人がこまっていたら声をかけるなどのお手伝いができそうだと思います。
- 手足がとっても重かったり、ひじやひざが曲げにくかったりして、高れい者になるとこんなに大変になるんだなと思いました。
- 配食サービス配達体験では、利用者の方が、たくさんおしゃべりをしてくれて、とてもうれしかったです。



# eスポーツ

## eスポーツとは？

「エレクトロニック・スポーツ」の略で、ビデオゲームなどの対戦をスポーツ競技ととらえるものです。手軽にできて頭や体を使うことから、高齢者の介護予防や健康増進にeスポーツを活かそうという動きが始まっています。



## 誰もが楽しめる eスポーツを活用



eスポーツは年齢や性別を問わず、誰もが楽しめます。いきいきサロンや老人クラブの活動はもちろん、世代間をこえての交流などに活用できます。ゲームが得意な子供たちも誘って、みんなで体験から始めてみてはいかがでしょうか。



健康維持  
増進

社会参加  
交流

生きがい  
づくり

## 「eスポーツ体験会」開催



eスポーツ体験会を開催し、実際に太鼓やパズルゲームを体験してもらいました。初体験の方がほとんどでしたが、大きなスクリーンですると迫力もあり盛り上がりました。待っている間は画面を見ながら一緒に膝打ちをして参加できます。参加者からは、「楽しかった。またやりたい。」「活動で使ってみたい。」などの声がありました。

利用方法等、不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。





# 譲渡会開催レポート

令和5年11月18日（土）、キナルなんぶにて「子ども服・用品譲渡会」を開催しました。キナルまつりでの開催となった為、沢山の方にご来場いただきました。



♪ 譲渡会運営は社会福祉法人における公益的な取り組みとして、祥和会・伯耆の国様にご協力頂きました



赤十字奉仕団さんにはお子さんを抱っこしていただく等、大変お世話になりました



開催にあたり、沢山の服・用品のご提供ありがとうございました  
次回の譲渡会は令和6年春予定です



## 赤い羽根共同募金

令和5年10月の募金運動開始から12月末の期間、たくさんのあたたかい募金をいただきました。

ありがとうございました



## 災害時における非常用自家発電機整備事業

防災用品

災害備品として、発電機・蓄電池を整備しました。災害時において非常用電源等の確保は不可欠で、近年通信手段や情報収集の方法も携帯電話やスマートフォンが主流となってきました。緊急時に短時間で充電することができ継続的に情報などを集めることが可能になります。

- 各集落での防災訓練等で使っていただけるように貸出も行っています。使用方法や貸出内容などお問合せください。

カセットボンベ2本で約1時間の連続運転が可能です。



赤い羽根共同募金 助成事業

# ご寄付ありがとうございました



(令和5年8月1日から令和5年11月30日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

## 香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額(円)
遠藤 賢二	大河内	遠藤 まつ子	金一封
細田 ちどり	福頼	細田 直子	金一封
影本 純	奥絹屋	影本 宏司	金一封
頼田 満喜子	縄平	頼田 順	金一封
新井 順子	宮前二	新井 健次郎	金一封
種 丹景	上阿賀	種 津多子	金一封
西村 祐正	大河内	西村 勝子	金一封
種 圃子	上阿賀	種 忠志	金一封
山田 真二	天萬 2 番組	山田 悦良	金一封
秦 伊知郎	上阿賀	秦 美枝子	金一封
船原 定	馬佐良	船原 通子	金一封
奥田 栄子	徳長	奥田 卓史	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額(円)
新井 英子	天萬 5 番組	新井 豊和	金一封
生村 清子	下阿賀	生村 義明	金一封
天野 正明	境	天野 睦子	金一封
太田 静枝	東西町 2 区	太田 淳	金一封
吉持 拓哉	田住	吉持 俊夫	金一封
板持 年昭	浅井	板持 幸恵	金一封
高橋 護	法勝寺 4 区	高橋 和江	100,000
末吉 真理子	金山	井上 節子	金一封
板倉 裕美	円山	板倉 繁紀	金一封
大森 ゆかり	宮前二	大森 憲一	金一封
青砥 日出夫	上鴨部	青砥 章子	金一封

◎ご寄付の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。  
◎寄付金額等の記載につきましては、寄付者ご本人の意思によるものです。

## 編集後記

### カメムシホイホイ

今年のカメムシは、大発生で農作物への被害は甚大だったと聞いています。

我が家にも山ほどのカメムシがやってきて、ガムテープでの捕獲では追い付かなくなりペットボトルで作ったカメムシホイホイが大活躍しました。

カメムシを見つけると皆から声がかかり、面白いように取れました。

少しは農作物の被害が減っているといいな(その程度では関係ないですが!)と思ったものです。

秋には、2040年問題の深刻さについて講演会がありました。

「人口減少で介護や医療など生活を支えてくれる人たちが不足してくる。」などが予想されている話です。

困ったこと、問題が発生すれば、素早く駆け付け簡単に解決してくれるものがあればいいな!カメムシホイホイみたいにい!

《Y・F》



## 車いすを貸し出します



### 貸出期間・利用料

- ・貸出期間は6か月以内
- ・利用料は1か月に満たない場合は**無料**。
- ・1か月を超え6か月までは2000円です。

### 貸出対象

- ①南部町にお住まいで、本会の会員の方
- ②介護保険等、公的サービスにおける福祉用具貸与を受けることが困難な方。
- ③公的サービス利用対象外の方



電話等お気軽にお問い合わせください